

救菜レシピ11・12月号を発行！



同じ料理ばかり食べている・料理が余る。
このような食生活と料理をお助けする「救菜レシピ」の11・12月号を発行しました。
今回は、祭事の時によく食べる巻き寿司！余って固くなった巻き寿司を美味しく食べるためのレシピ等を紹介しています。
そしてアイデア料理も「巻き寿司」です。
男前巻きと美人巻きを紹介！どんなお寿司がお楽しみに！



放送大学に入学しませんか

放送大学はテレビ・インターネットで授業を行う通信制の大学です。働きながら大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で、幅広い世代の方が学んでいます。

ただいま2022年4月入学生を募集しています。詳しい資料を送付いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

○募集学生の種類

－教養学部－

- 科目履修生（6ヶ月在学し、希望する科目を履修）
- 選科履修生（1年間在学し、希望する科目を履修）
- 全科履修生（4年以上在学し、卒業を目指す）

－大学院－

- 修士科目生（6ヶ月在学し、希望する科目を履修）
- 修士選科生（1年間在学し、希望する科目を履修）



○出願期間 **2021年11月26日～2022年2月28日、3月1日～3月15日**

（インターネット出願も受け付けております）

○資料請求（無料）・お問合せ先

〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7-20
放送大学和歌山学習センター

TEL 073-431-0360 Fax 073-431-0311 放送大学ホームページ <https://www.ouj.ac.jp>

令和3年12月号 公民館だより

稲成

未来へつなぐ道
田辺市

発行：稲成公民館
館長：倉谷 修治 主事：津田 祐司
事務所：田辺市高雄一丁目23番1号
市民総合センター内
TEL：26-4925 FAX：25-6029
田辺市ホームページ <http://www.city.tanabe.lg.jp/>
稲成公民館区 人口 及び 世帯数 令和3年10月末現在
人口3,235人 世帯数1,449世帯 男性1,534人 女性1,701人



2021年も早いもので師走を迎えております。 稲成公民館長 倉谷 修治

4月に稲成公民館長に就任して早や9カ月。コロナの影響で、公民館行事がまともに実施できないまま公民館長らしいことも、ほぼできずしております。

コロナで始まった2021年。今年もこのまま終わるのかと思いましたが、ここきて少し見通しが明るくなってきたような気がします。そんな2021年、実に様々な出来事がありました。

感染拡大が懸念される中で開催された「2020 東京オリンピック・パラリンピック」

10月には100代目内閣総理大臣岸田さんが誕生。10月4日から11月10日までのわずか38日の在籍日数でありましたが、10月31日の衆議院選の結果、101代目内閣総理大臣として新たに就任され、第2次岸田内閣が発足しました。

また、小室圭さんと眞子さんがご結婚され、その記者会見が10月26日午後テレビで生放送されていました。街角インタビューで市民の皆さまの様々な意見が紹介されておりましたが、私は思わず「ほっといたれよ！」ってつぶやいてしまいました。この世に生を受け、どう生きていくのかはその人個人の問題であり、他人がとやかく口を挟むべきではないと思ったからです。

障害者の支援施設を運営しておりますが、全く無縁だった私のはっとさせられたことがありました。それは、「私たちは障害者である前に（他の人と同じ）人間だ。」（1973年にアメリカのオレゴン州で知的障害者の当事者が発言した言葉です。）そして、これをもとにQuality of Life（クオリティー オブ ライフ）本人が自分の生き方や在り方を決めるのであり、他人の主導で決定されるべき事柄ではないということでした。

子どもには子どもなりの考えがあり、お年寄りにはお年寄りの生き方や考え方があるのです。尊重し合うことこそが大切なのではないのでしょうか。

さて、話は元に戻りますがやっと緊急事態宣言が解除され、少しずつではありますがコロナ前の日常が戻つつあります。ワクチンだけでなく、飲み薬の開発も急加速で進んでいるとのこと。ほぼ2年間、混沌とした日常生活を余儀なくされた時が過ぎ去ろうとしております。

稲成公民館新築工事も来年12月の完成に向けて、いよいよ着工され来年こそは稲成、むつみの町内会活動をはじめ、公民館活動もコロナ前のように実施できることに期待したいものです。

年末から来年の年明け以降、「ラニーニャ現象（海面水温が平年より低い状態）」とやらで平年より寒い日が続く予報が出ております。どうぞ皆さま、温かくして年越しをされますように。つたない公民館だよりをお読みいただきありがとうございました。また、来年もお付き合いくださいますようどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、皆さまどうぞ良いお年をお迎えくださいますように！

稲成公民館の学社融合の取組

11月2日（火）、稲成小学校5年生の児童が稲荷神社を訪れ、稲成町内会長 山田能久さん及び稲荷神社の総代長の岡崎一彦さんから稲成地域の歴史と稲荷神社の歴史について学んでいました。

岡崎さんは、神社を参拝する時のマナー（作法）について伝え、本殿前ですべての児童たちは並んで参拝しました。

その後、社務所に移動し山田会長は、稲成地域や神社に関する成り立ちや名称の由来について説明しました。

児童たちは、真剣に話を聞いてメモを取ったり、疑問に思ったことは積極的に質問するなど、自分たちが住む地域の歴史について積極的に学習していました。

また、田辺市の指定文化財である稲荷神社棟札も見せていただきました。この棟札は明応9年（1500）と元亀2年（1571）に作られたものであり、この頃には既に稲荷神社の名称が記されています。この棟札は、田辺市では最古の物であり、地域の歴史を物語る史料であり文字記録として貴重な存在となっています。



【稲荷神社所有の棟札】

右側の札が明応9年（1500）、左側の札が元亀2年（1571）に作られたものです。文字が擦れている部分もありますが、稲荷大明神の文字ははっきりと読み取れます。

明応、元亀は室町時代後期から末期にかけての元号です。

【棟札とは？】

建物の棟上げの時に、建造の年月日や施主・工事に関わった者などを記して後世に伝えるために作られ、天井の棟木などに打ち付けられた札を棟札といいます。棟札は、建物の歴史を解明する資料として重要視されています。

また、古文書のみでは語り切れなかった地域の歴史や建立に関わった人々の信仰の様子も読み取ることができる資料として注目を集めています。

人権合同研修会を開催しました

11月22日（月）、稲成町民センターにて令和3年度田辺市生涯学習（人権）推進委員会・田辺市人権擁護連盟合同の研修会を開催しました。

今年度の研修会は、和歌山県紀南児童相談所長である伊藤尚人様に「児童相談所と児童虐待」をテーマに講演をしていただきました。

講演では、児童相談所が果たす機能や県内の児童相談所の組織体制をはじめ、児童相談所に寄せられる相談やその後の対応の流れ、児童虐待の実態について自らの経験を交えた内容でお話をいただきました。

新聞やテレビを通じて児童虐待による悲しい事件が報道されていますが、和歌山県内でも相談や一時保護されるケースは度々発生しており、私たちの身近な所でも発生していることが分かりました。

子どもたちの尊い命を守るため、万一身近で「もしかしたら虐待かも？」と思った場合は迷うことなく児童相談所に通報しましょう。

【児童相談所全国共通3桁ダイヤル】 189（いちはやく）

◆通報は匿名で行うことも可能です。

◆通報者や通報内容に関する秘密は守られます。



※本研修会につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、講演をDVDに収録したものを各公民館で視聴しました。

稲成公民館 LINE公式アカウントに登録しませんか？

稲成公民館では、地域の皆さんに公民館からの様々な情報をお届けするため、『LINE』による情報発信を行っています。公民館のイベント情報やお知らせを皆さんの元にお届けします。

是非、ご登録をお願いします。

【登録方法1】

右のQRコードを読み取り、田辺市稲成公民館を追加して登録!!



【登録方法2】

ID検索 @886wqzzlを検索して登録

